

## 〈資料紹介〉竹田からくり関連絵尽し二種の紹介

——からくり「八わたの本記」「福寿海宮島伝記」——

山 田 和 人

一昨年、竹田からくり関連の水からくりの演出について、「水からくりの舞台演出—竹田からくり「八幡宮本記」をめぐる—」で論じた（『同志社国文学』八四号（二〇一六年三月）。その際に紹介した絵画資料が「八幡宮本記」と「福寿海宮島伝記」であった。近

時、それと同じ演目を収めた別種の竹田芝居の絵尽しが本学の所蔵となった（すでに登録済みであるので、分類番号を参考までに付した）。そこで、そのうちから当該のからくりの絵と本文を翻刻して紹介することにした。前稿の図版（国立国会図書館所蔵「絵本集艸」所収）も参考にして頂ければ幸いである。

詳細は後日改めて報告するが、国立国会図書館の絵尽しと今回紹介する絵尽しは挿絵の構図も本文も類似性が高く、何らかの類縁関係にあるものと推定され、竹田からくり関連の絵尽しのあり方についても検討する余地があることを指摘しておきたい。

〈資料紹介〉竹田からくり関連絵尽し二種の紹介

なお、本学の所蔵となった絵尽しは四種あり、今回未紹介の狂言も含めて、後日改めて紹介したい。ちなみに、この四種はいずれも横山正旧蔵本である。

翻刻に際しては、それぞれ、影印版と翻刻版を一組として掲載することにした。文字組みもできるだけ原本に忠実に再現するように心がけた。ただし、組み版上多少のずれが生じる場合があるが、影印版を適宜ご参照下さい。

以下に二種の簡単な書誌を記しておきたい。

### 一、『せきとり二代かがみ』

同志社大学所蔵『せきとり二代かがみ』（七七七・一 S九二一

七）

寸法 縦二〇・四種、横一四・七種。

（資料紹介）竹田からくり関連絵巻し二種の紹介

一〇〇

表紙 元表紙。黒色。題簽欠。

演目 「せきとり二代かゞみ」（表紙見返し）「（御）所桜ほり川ようち」（二オ）次の丁は破損しており、不明だが、裏表紙見返しの演目・役名・役者一覧によれば、「さるが島敵打」（二ウ）か。次からくり「八幡の本記」が二丁分続く。（石清水八幡宮の由来）（二オ）「大からくり八わたの本記」（二ウ・三オ）、「八わた山のふうけい」（三ウ）、演目・役名・役者一覧（裏表紙見返し）。演目は「御所さくら」「関取二代かゞみ」「さるが島敵打」、それぞれに役名と役者名が記されている。

印記 表紙の表に「横山蔵書」（横山正旧蔵本）。

刊年 未詳。

備考 保存状態が必ずしもよくなく、破損が著しい。

## 二、「福寿海宮島伝記」

同志社大学所蔵『福寿海宮島伝記』（七七七・一〇九四六九）

寸法 縦二一・〇糎、横一五・二糎。

表紙 元表紙。共表紙。題簽なし。

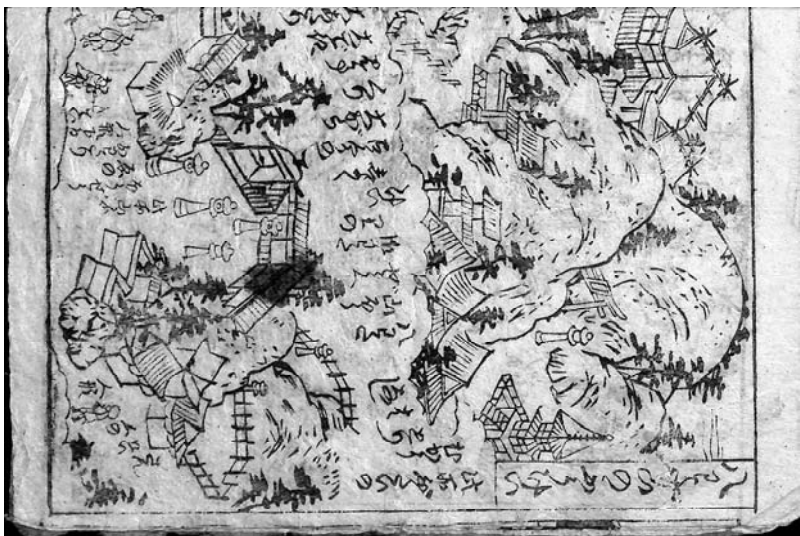
演目 「渡始錦帯橋」（一ウ・二オ）「左り甚五郎」（二ウ・三オ）からくり「新からくり人形づ」（三ウ上・四オ上）、おどけ狂言（からくりまへきやうげん）（三ウ下・四オ下）。

印記 裏表紙二「横山蔵書」（横山正旧蔵本）。

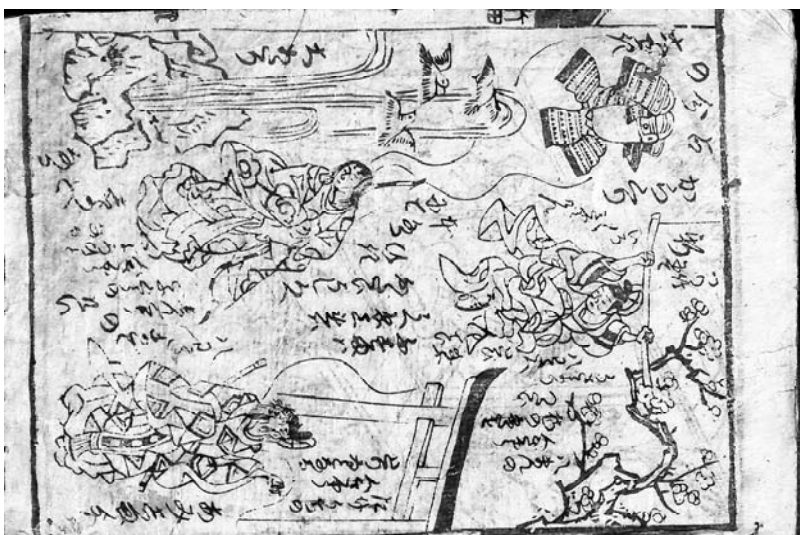
刊年 未詳。

備考 袋が綴じ合わされている。表に「からくり」「福寿海宮島伝記」「細工人竹田近江大掾」「座本 藤川菊松／嵐君助」。裏に「大坂新町西口すなは 末よし板」と版元を記す。袋の絵柄は、表紙と同じ。裏表紙には「大坂新町西口□□□□（すなは） 末よし板」とある。





「八幡の本記」(4才)



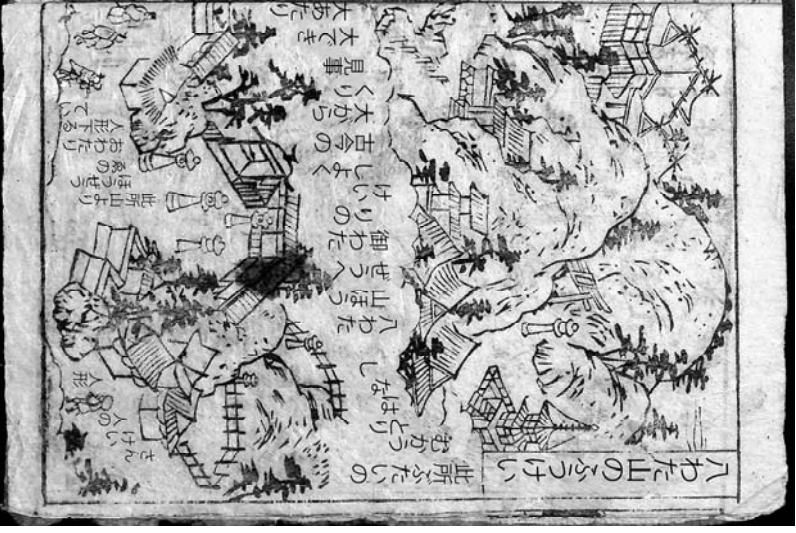
「八幡の本記」(3才)



「八幡の本記」(3ウ・4ウ)

〈資料紹介〉竹田からくり関連絵尺二種の紹介

〔資料紹介〕竹田からくり関連絵尽し二種の紹介



「八幡の本記」(4才)

一〇四



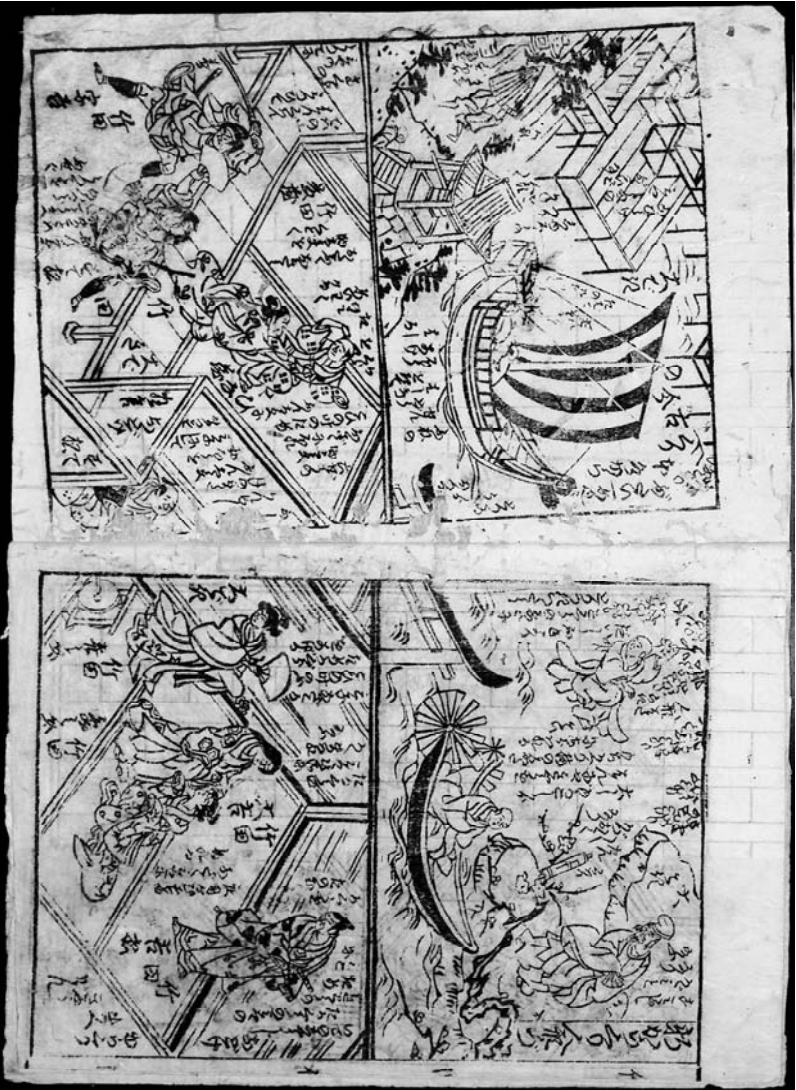
「八幡の本記」(3才)



「八幡の本記」(3ウ・4オ)

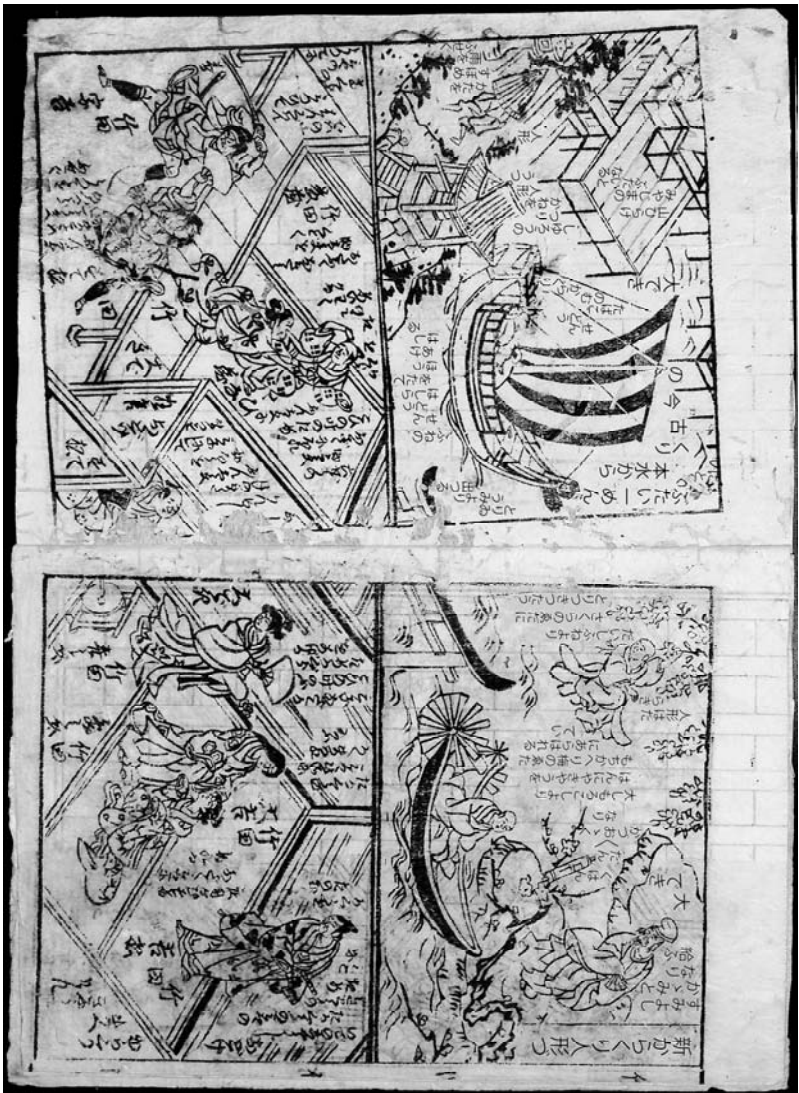
〈資料紹介〉竹田からくり関連絵尺二種の紹介

〔資料紹介〕竹田からくり関連絵尺二種の紹介



〔福寿海宮島伝記〕(3ウ・4才)





〈資料紹介〉竹田からくり関連絵尺二種の紹介

『福寿海宮島伝記』(3ウ・4ウ)